

# 卒園児のみなさんへ

タンポポ魂

坂村真民

踏みにもじられても  
食いちぎられても  
死にもしない  
枯れもしない  
その根強さ  
そしてつねに  
太陽に向かって咲く  
その明るさ  
わたしはそれを  
わたしの魂とする

先日、中学1年生になった卒園児が2人、天使幼稚園の近くを散歩していて、なつかしくなったからと会いに来てくれました。とっても嬉しかったです。

今、みなさんは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校が5月末まで休校になりましたね。どんなことをして過ごしていますか？

学校へ行かないからたいくつだなあ、とか、つまらないなあ、と思っていませんか？

3月の終わりに、私の家の玄関先に小さな黄色いタンポポの花を見つけた時、みなさんが幼稚園で園児の頃暗唱していた“タンポポ魂”の音が、心に響いてきました。

冬には忘れられている小さなタンポポですが、春になると必ず、太陽に向かって咲く力強さに、思わず「ありがとう」とつぶやいていました。

今みなさんは、あまり人と会うことが出来ませんね。

そしてきっと、小さな心でいろんなことを感じたり、考えたりしていることでしょう。

今こそ“本物”と出会い、見つけるチャンスです。今しかできないことを見つけて、宝物を探してください。

きっとすぐ近くにあります。

学校があっても、なくても、大切なことは一つ。

大切ないのちを守るために、見えるところ、見えないところで支えてくださっている、すべての方に感謝しましょう。

「ありがとう」の心が広がった時、きっと素敵なことが起こると、私は信じています。

神さまは、私たちに耐えられない試練はお与えにならない、と確信しています。

みなさんと、みなさんのご家族の幸せをお祈りいたします。

天使幼稚園 園長 大槻いずみ

